

（ 社 ） 日本原子力学会
第 3 4 回倫理委員会議事要旨

日 時 H19 . 9 . 27 (木) 14 : 45 ~ 17 : 20
場 所 北九州国際会議場控室 3
出席者 北村、大場、班目、五百旗頭、小川、小澤、鐘ヶ江、作田、谷、辻、鳥飼、
 中安、矢野 (1 3 名)

配布資料

- 資料 34 - 1 第 33 回倫理委員会議事要旨 (案)
- 資料 34 - 2 倫理規程改定理事会審議結果報告及び倫理規程最終案見え消し
- 資料 34 - 3 原子力設備に係る不正・不適切な行為と再発防止の評価検討タスク作業
- 資料 34 - 4 関西電力美浜発電所等訪問に関する報告
- 資料 34 - 5 倫理委員会ホームページ
- 参考資料 34 - 1 第 8 回倫理研究会参加者アンケート回答集計結果
- 参考資料 34 - 2 技術倫理協議会第 3 回公開シンポジウム「リスクマネジメントと技術
 者の倫理の接点 - 学協会の役割」(案)

議事

- 1 . 資料 34 - 1 の前回議事要旨を確認した。
- 2 . 五百旗頭委員より資料 34 - 2 を用いて理事会において倫理規定改訂が承認された旨の報告があった。またその際に理事会で出されたコメントの紹介があった。これについて検討の結果、倫理規定のさらなる改訂は必要ないとの結論となり、その旨なるべく早く理事会に回答することとした。具体的な回答文についてはアンケートを行い決定することとした。
- 3 . 班目タスク主査より資料 34 - 3 を用いて原子力設備に係る不正・不適切な行為と再発防止の評価検討タスクの作業状況報告があった。アンケートの結果決定した評価尺度の表記方法が紹介されたが、注釈については固定するものではなく随時見直ししながら使うことを確認した。気の毒な事情がある場合や悪質さが目立つ場合に行うこととしている評価ランクの変更は今回の 98 件では必要なかったことの報告もあった。今後、再発防止面の評価を中心に作業を続けることを了承した。
- 4 . 大場副委員長より資料 34 - 4 を用いて関西電力美浜発電所等訪問に関する報告があった。再発防止策は全体として着実に実行されていることを確認した旨の説明があった。また、関西電力が変わったことを協力会社も感じていること、一方で関西電力社員に繁忙感があることは否めず今後の改善が望まれることなどが報告された。訪問に参加した他の委員からも関西電力の現場の意識改革のすばらしさなどの感想が紹介された。今後、見解を发表する必要があるが、委員会内でコメントを募集しつつ文面をまとめ、最終的には投票で決

定することを確認した。

- 5．第 9 回原子力に関する倫理研究会は、原子力発電設備で発生した不正・不適切事例の評価と再発防止をテーマとして開催することとした。再発防止について議論してもらうことを中心とする形で研究会を組む。また、コメンテーターとして外部の有識者を呼ぶことも検討する。東大のグローバル COE との共催も承認した。とりまとめ担当は大場副委員長とし、11 月 12 日（月）の午後の開催を決めた。
- 6．班目幹事より次期（第 4 期）倫理委員会委員について、現在の委員の留任／退任の意向の報告および新任委員のホームページ等での募集に対しすでに複数の応募があった旨の報告があった。今後、委員会として次期委員候補者を理事会に推薦することになるが、新任委員の応募締め切りが 10 月末日であることから、推薦者は次回委員会で決定することとした。なお、人数や産官学のバランスなどにより立候補者の絞り込みを行う旨を、次回から募集の文面にも明記することとした。
- 7．大場副委員長より資料 34 - 5 を用いて、倫理委員会の新しいホームページのデザインの紹介と作業状況の説明があった。文字を大きくするためのズーム機能を持たせるかどうかについては引き続き検討することとした。倫理規程改訂に際していただいた意見とそれへの回答については、ホームページがリニューアルされ次第掲載することとした。その際、意見の中に個人名や個人が特定される役職名があげてあったためホームページ上ではその部分の記載を避けることとした意見提出者の名前は、本人からは匿名でとの申し出はないが記載しないこととした。ほかに、改訂倫理規程の英訳は鳥飼委員が担当することとなった。
- 8．秋の大会倫理委員会セッションの報告（学会誌）については発表者が発表内容を各自短く記述し、作田委員がまとめることとした。
- 9．矢野委員より参考資料 34 - 1 を用いて第 8 回「原子力に関する倫理研究会」で実施したアンケートの集計結果の紹介があった。また報告書（CD）の作成予定も説明された。
- 10．鳥飼委員より参考資料 34 - 2 を用いて 11 月 27 日に技術倫理協議会主催のシンポジウムが開催される旨の紹介があった。
- 11．次回は 11 月 12 日の午前中に倫理研究会の会場で開催することとした。